

## 令和元年上尾市教育委員会 6月定例会 会議録

- 1 日 時 令和元年6月26日(水曜日)  
開会 午前9時30分  
閉会 午前10時26分
- 2 場 所 上尾公民館503
- 3 出席委員 教育長 池野和己  
教育長職務代理者 細野宏道  
委員 中野住衣  
委員 大塚崇行  
委員 内田みどり  
委員 小池智司
- 4 出席職員 教育総務部長 小林克哉  
学校教育部長 伊藤潔  
学校教育部参事 兼 学校教育部次長 関孝夫  
教育総務部次長 西嶋秋人  
学校教育部副参事 兼 学務課長 瀧沢葉子  
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 太田光登  
教育総務部 教育総務課長 森泉洋二  
教育総務部 生涯学習課長 小宮山克巳  
教育総務部 図書館長 島田栄一  
教育総務部 スポーツ振興課長 柳川忠明  
学校教育部 学校保健課長 荒井正美  
学校教育部 中学校給食共同調理場所長 戸國健一  
書記 教育総務課主幹 山内和徳  
教育総務課副主幹 上山英樹  
教育総務課主査 鳥丸美鈴  
教育総務課主任 井上建一
- 5 傍聴人 2人

## 6 日程及び審議結果

### 日程第1 開会の宣告

### 日程第2 5月定例会会議録の承認

### 日程第3 会議録署名委員の指名

### 日程第4 議案の審議

議案第31号 上尾市指定文化財の指定について

議案第32号 上尾市社会教育委員の委嘱又は任命について

議案第33号 上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について

議案第34号 上尾市人権教育推進協議会委員の委嘱について

議案第35号 上尾市学校運営協議会委員の任命について

### 日程第5 報告事項

報告事項1 第32回2019上尾シティマラソンの開催について

報告事項2 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の委嘱又は任命について

報告事項3 令和元年5月 いじめに関する状況について

### 日程第6 今後の日程報告

### 日程第7 協議

上尾市立平方幼稚園の在り方について

### 日程第8 閉会の宣告

## 7 会議録

### 日程第1 開会の宣告

(池野和己 教育長) ただ今から、令和元年上尾市教育委員会6月定例会を開会いたします。本日は、傍聴の申出はございますか。

(森泉洋二 教育総務課長) 2名の方から傍聴の申出がございます。教育長の許可をお願いいたします。

(池野和己 教育長) 傍聴を許可します。ご案内をお願いします。

～傍聴人入場～

(池野和己 教育長) それでは、日程に従いまして、会議を進めます。

### 日程第2 5月定例会会議録の承認について

(池野和己 教育長) 「日程第2 5月定例会会議録の承認について」でございます。5月定例会の会議録につきましては、すでにお配りをし、確認していただいておりますが、修正等があれば、お伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。承認することにご異議ございませんか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) 異議ないものと認め、5月定例会につきましては、細野委員にご署名をいただき、会議録といたします。

### 日程第3 会議録署名委員の指名

(池野和己 教育長) 続いて、「日程第3 本定例会の会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は、中野委員をお願いいたします。

(中野住衣 委員) はい。

### 日程第4 議案の審議

(池野和己 教育長) 続きまして、「日程第4 議案の審議」を行います。本日は、5件の議案が提出されております。最初に、「議案第31号 上尾市指定文化財の指定について」説明をお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 議案第31号につきましては、小宮山生涯学習課長が説明申し上げます。

#### **○議案第31号 上尾市指定文化財の指定について**

(小宮山克巳 生涯学習課長) 議案書の1ページ目をお開きください。「議案第31号 上尾市指定文

化財の指定について」でございます。上尾市文化財保護条例第5条第1項の規定に基づき、上尾市指定文化財の指定をしたいので、この案を提出するものです。次の2ページ目が文化財の概要でございます。3ページ目には、写真を掲載してございますので、あわせてご覧ください。名称は、坂上遺跡方形周溝墓出土品（さかのうえいせきほうけいしゅうこうぼしゅつどひん）でございます。種別ですが、有形文化財の考古資料となります。員数は2点です。所在地は上尾市本町三丁目1番1号、上尾市教育委員会、所有者は上尾市。詳細につきましては、説明文のとおりです。説明は、以上でございます。

（池野和己 教育長）ただ今、議案第31号について説明をいただきました。質疑、意見等がございましたら、お願いいたします。

（池野和己 教育長）よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

（池野和己 教育長）ないようですので、採決に移ります。「議案第31号 上尾市指定文化財の指定について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

（池野和己 教育長）異議ないものと認め、原案どおり可決いたしました。

（池野和己 教育長）続きまして、「議案第32号 上尾市社会教育委員の委嘱又は任命について」説明をお願いいたします。

（小林克哉 教育総務部長）議案第32号につきましては、小宮山生涯学習課長が説明申し上げます。

#### ○議案第32号 上尾市社会教育委員の委嘱又は任命について

（小宮山克己 生涯学習課長）議案書の4ページをお開きください。「議案第32号 上尾市社会教育委員の委嘱又は任命について」でございます。提案理由でございますが、上尾市社会教育委員に欠員が生じたため、社会教育法第15条第2項の規定により、委嘱又は任命したいので、この案を提出するものです。なお、任期は前任者の残任期間となり、令和2年6月30日まででございます。説明は、以上です。よろしく申し上げます。

（池野和己 教育長）ただ今、議案第32号について説明をいただきました。質疑、意見等がございましたら、お願いいたします。

（池野和己 教育長）よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

（池野和己 教育長）ないようですので、採決をいたします。「議案第32号 上尾市社会教育委員の

委嘱又は任命について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(池野和己 教育長) 異議ないものと認め、原案どおり可決いたしました。

(池野和己 教育長) 続いて、「議案第33号 上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について」説明をお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 議案第33号につきましては、小宮山生涯学習課長が説明申し上げます。

### ○議案第33号 上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について

(小宮山克巳 生涯学習課長) 議案書の5ページから7ページをご覧ください。「議案第33号 上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について」でございます。提案理由でございますが、上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の任期が平成31年3月31日で満了したことに伴い、上尾市立人権教育集会所運営委員会規則第3条第2項の規定に基づき、議案の一覧表にあります皆さんを委嘱又は任命したいので、この案を提出するものです。この委員会は、同和教育をはじめとする様々な人権教育の充実を図るために、畔吉と原市に設置しております、人権教育集会所の運営に関して必要な事項を審議するために、設けられるものでございます。委員の任期は2年で、今回、委嘱又は任命する任期は令和3年3月31日まででございます。なお、1号委員は地区の代表者、2号委員は市立小・中学校長、3号委員は識見を有する者のうちからお願いしております。また、会議につきましては、昨年度は畔吉、原市とも年2回の会議を開催しておりますが、今年度も同様の予定をしております。説明は、以上です。よろしくお願いいたします。

(池野和己 教育長) 議案第33号について説明をいただきました。これについて、質疑、意見等がございましたら、お願いいたします。

(細野宏道教育長 職務代理者) 教えていただきたいのですが、原市集会所運営委員で、1号委員は地区の代表者ということだったのですが、1号委員の2番目の方の住所が瓦葺となっていますけれど、その方が原市七区区長となることはあるのでしょうか。

(小宮山克巳 生涯学習課長) 原市地区全体の中の瓦葺ということですよ。

(細野宏道教育長 職務代理者) はい。わかりました。

(池野和己 教育長) それ以外にありますか。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) それではないようですので、採決いたします。「議案第33号 上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

~委員全員から「異議なし」の声~

(池野和己 教育長) 異議ないものと認め、原案どおり可決いたしました。

(池野和己 教育長) それでは続きまして、「議案第34号 上尾市人権教育推進協議会委員の委嘱について」説明をお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 議案第34号につきましては、小宮山生涯学習課長が説明申し上げます。

#### ○議案第34号 上尾市人権教育推進協議会委員の委嘱について

(小宮山克巳 生涯学習課長) 「議案第34号 上尾市人権教育推進協議会委員の委嘱について」でございます。恐れ入りますが、8ページ目をご覧ください。提案理由といたしまして、人権教育推進協議会委員に欠員が生じたため、後任の委員を委嘱したいので、この案を提出するものでございます。第4条第1項ただし書の規定でございますが、前任者の残任期間ということを決めたものでございまして、任期は令和2年5月31日までとなります。なお、4号委員につきましては、人権にかかわる活動を行っている団体の代表者ということで、ここに記載した方を委嘱したいと考えております。説明は、以上でございます。

(池野和己 教育長) ただ今、議案第34号につきまして説明をいただきました。質疑、意見等ございましたら、お願いいたします。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

~委員全員から「はい」の声~

(池野和己 教育長) それでは、ないようですので、採決いたします。「議案第34号 上尾市人権教育推進協議会委員の委嘱について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

~委員全員から「異議なし」の声~

(池野和己 教育長) 異議ないものと認め、原案どおり可決いたしました。

(池野和己 教育長) 続いて、「議案第35号 上尾市学校運営協議会委員の任命について」説明をお願いいたします。

(伊藤潔 学校教育部長) 議案第35号につきましては、太田副参事兼指導課長が説明申し上げます。

#### ○議案第35号 上尾市学校運営協議会委員の任命について

(太田光登 指導課長) 議案書 9 ページをお開きください。「議案第 35 号 上尾市学校運営協議会委員の任命について」でございます。上尾市立瓦葺中学校学校運営協議会委員から辞任願が提出されたことに伴い、後任の委員を任命したいので、この案を提出するものでございます。委員の任期は、令和 2 年 3 月 31 日までとなっております。以上でございます。

(池野和己 教育長) ただ今、議案第 35 号について説明をいただきました。質疑、意見等ございましたら、お願いいたします。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) それでは、ありませんので、これより採決をいたします。「議案第 35 号 上尾市学校運営協議会委員の任命について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(池野和己 教育長) 異議がないものと認め、原案どおり可決いたしました。

(池野和己 教育長) 次に、「日程第 5 協議」でございます。「上尾市立平方幼稚園の在り方について」でございますが、審議を始める前にお諮りを申し上げます。「上尾市立平方幼稚園の在り方について」は、上尾市情報公開条例第 7 条第 6 号の非公開情報にある意思形成過程に係る内容であることから、協議を公開しないこととしたいと存じますが、ご異議はございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(池野和己 教育長) それでは、異議がないものと認め、「日程第 5 協議」につきましては、会議を公開しないものとして決定いたしました。これを受けまして、予定されていた本日の日程を変更いたします。議案審議の後、会議を公開して行う報告事項、今後の日程報告を行いたいと存じます。その後、非公開の会議として、協議を行いたいと存じますので、よろしく願い申し上げます。

## **日程第 5 報告事項**

(池野和己 教育長) 続いて「日程第 5 報告事項」に入ります。本日は、3 件の報告がございます。よろしく願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 「報告事項」のご用意をお願いいたします。1 ページになりますが、「報告事項 1 第 32 回 2019 上尾シティマラソンの開催について」は、柳川スポーツ振興課長よりご報告いたします。

### **○報告事項 1 第 32 回上尾シティマラソンの開催について**

(柳川忠明 スポーツ振興課長) 「報告事項 1 第 32 回 2019 上尾シティマラソンの開催について」

ご報告いたします。報告事項の1ページをお願いいたします。日時につきましては、令和元年11月17日曜日、雨天決行で開会式は、午前8時40分から行います。主催につきましては、上尾市、上尾市教育委員会、上尾市スポーツ協会、一般財団法人埼玉陸上競技協会の構成でございます。会場につきましては、例年通り上尾運動公園陸上競技場をスタート、フィニッシュとした上尾市内の折り返しコースで、ハーフにつきましては、公益財団法人日本陸上競技連盟公認コースでございます。募集人員につきましては、ハーフで5,500人、5km1,500人、3km1,200人でございます。また、申込期間につきましては、7月1日から8月30日までとなっております。参加料につきましては、本年度からハーフが1,000円増額の5,000円、5kmが200円増額の4,000円に変更いたしました。理由としましては、事前に送付しております、ナンバーカード等郵送料の増額、又警備業務や会場設営業務において人件費の上昇や今後予定されている消費税増税に伴い、委託料が増額したのですが、運営面や安全対策等の必要性から、値上げをしたところでございます。なお中学生の1,000円と小学生の500円は変更ございません。次の2ページ目に開催要項を載せておりますのでご参照いただければと思います。説明は以上でございます。

(伊藤潔 学校教育部長) 「報告事項2 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の委嘱又は任命について」は瀧沢副参事兼学務課長が、「報告事項3 令和元年5月 いじめに関する状況について」は太田副参事兼指導課長が、報告いたします。

#### ○報告事項2 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の委嘱又は任命について

(瀧沢葉子 学務課長) 報告事項の3ページをご覧ください。このたび上尾市立小中学校通学区域検討協議会設置要綱第3条第2項の規定によりまして、委員の委嘱又は任命をいたしますので報告するものでございます。委員は4ページに名簿をお示しいたしました通り16名の方々となっております。なお任期は2年で令和元年7月1日から令和3年6月30日まででございます。以上でございます。

#### ○報告事項3 令和元年5月 いじめに関する状況について

(太田光登 指導課長) 5ページをお開きください。「報告事項3 令和元年5月 いじめに関する状況について」でございます。6ページをご覧ください。上の小学校のグラフをご覧ください。1点訂正がございます。5月の新規認知はグラフ上5件となっておりますが、右上の囲みのおり6件でございますので、申し訳ございませんが訂正をお願いいたします。解消は1件、解消に向けて取り組み中が60件であります。下の中学校のグラフをご覧ください。新規認知は2件、解消は0、解消に向けて取り組み中が40件となっております。以上でございます。

(伊藤潔 学校教育部長) 報告は以上でございます。よろしくをお願いいたします。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。ただいま報告事項3点について説明をいただきました。これにつきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

(細野宏道教育長 職務代理者) 教えていただければと思います。報告事項1のシティマラソンの参加料の値上げについてです。ハーフマラソンで他の大会の参加料は一般の方でどのぐらいの参加料なのでしょう。



(柳川忠明 スポーツ振興課長) 今回の値上げをするにあたりまして、調べましたところ、埼玉県内では、川越市、所沢市、熊谷市のハーフが5,000円でございます。

(細野宏道教育長 職務代理者) 招待選手は今回いらっしゃるのでしょうか。

(柳川忠明 スポーツ振興課長) 招待選手につきましては、今年は、プロランナーに転向しました、昨年までもお願いしております川内優輝選手、またゲストとしましては、世界陸上で競歩で活躍されています岡田久美子さんが、昨年通り出席予定であります。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。報告事項につきましては、これで終了したいと思います。

## **日程第6 今後の日程報告**

(池野和己 教育長) 続きまして、今後の日程報告をお願いいたします。

(森泉洋二 教育総務課長) それでは、7月の主な日程について申し上げます。7月11日木曜日は、上尾、桶川、伊奈の2市1町教育委員会連絡協議会の視察研修が予定されております。7月13日土曜日、14日日曜日は上尾夏祭りが開催される予定となっております。7月16日火曜日は、埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会が 埼玉会館で開催される予定となっております。7月18日木曜日は9時30分から7月定例会の開催予定となっております、また18日には、総合教育会議の開催も予定されております。日程につきましては以上でございます。

(池野和己 教育長) それでは今日程の説明をいただきましたが、委員の皆様からご意見、ご要望等ございましたら、お願いします。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。では、それ以外のことで委員の皆様から何かありましたらお願いいたします。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) ありがとうございます。ここからは、非公開の会議として協議の方に入りたいと思います。恐れ入りますが、傍聴の方は、ご退室をお願いいたします。

～傍聴人退場～

## 日程第7 協議

(池野和己 教育長) それでは「協議」に入ります。「上尾市立平方幼稚園の在り方について」説明をお願いします。

(小林克哉 教育総務部長) 「上尾市立平方幼稚園の在り方について」は、森泉教育総務課長が説明申し上げます。

(森泉洋二 教育総務課長) それでは、協議事項と協議資料のご用意をお願いいたします。協議事項表紙をおめくりいただきまして「上尾市立平方幼稚園の在り方について」でございます。1ページお進みいただきまして、はじめに＜概要＞でございます。平方幼稚園は、市内唯一の公立幼稚園で、現在4歳児14名、5歳児16名、合計30名が在園しております。定員100名のところ、在園児数が定員から大きく下回る状況が続いております。施設については、園舎東棟が2年後の令和3年度末に耐用年数を迎え、翌令和4年度末に講堂（ホール）が耐用年数を迎えます。平方幼稚園については、第8次上尾市行政改革大綱・行政改革実施計画において、民間幼稚園の就園状況に鑑み、抜本的な見直しを行い、その在り方について検討することが位置づけられており、教育委員会では、平方幼稚園の今後の在り方について調査、検討してきたところでございます。協議事項で1点訂正がございます。＜平方幼稚園の状況＞で「2. 施設耐用年数」がございます。この施設耐用年数のところに、東棟、講堂、西棟の3つの施設について、耐用年数がそれぞれ令和3年度末、令和4年度末、令和26年度末と記載させていただいておりますが、東棟と講堂につきましては、鉄筋コンクリート造ということで、耐用年数が60年でございますが、西棟につきましては、鉄骨造のため、耐用年数が55年となります。こちら耐用年数令和26年度末と記載されておりますが、令和21年度末ということで訂正をお願いいたします。申し訳ございません。よろしくをお願いいたします。それでは、協議資料の資料1をお願いいたします。平方幼稚園の園児数ですが、昭和51年度をピークに平成2年度まで園児数が減少しております。平成2年度から、それまで平方地区のみであった募集を、上尾市全地区に拡大しております。その影響もありまして人数の方がその後若干増えております。次のページは、クラス数、園児数、教員数の内訳と推移になっております。その次の表、地区別在園児数となっております。次に、資料2をお願いいたします。公立の平方幼稚園と市内私立幼稚園の市費負担についての比較になります。毎年、平方幼稚園には、年間約3,500万円から4,000万円の運営管理費がかかっており、園児一人当たりの市費負担について、平成30年度は約124万円、私立幼稚園は約9万円であり大きな乖離があります。なお、私立幼稚園では、市費負担補助金の他に私学助成といたしまして国や県の補助を受けております。比較は市費負担分に限ったものであります。資料3をご覧ください。平方幼稚園の園舎配置図になります。斜線部分中央の東棟が令和3年度末に、その右側の講堂が令和4年度末に耐用年数を迎えます。解体工事、及び同規模建物建設工事には、概算で2億円を超える費用が必要になるという試算となっております。市内私立幼稚園の状況についてでございますが、資料4をお願いいたします。資料4が別冊のガイドブックになります。一番最後のページ26、27ページをご覧ください。認定こども園を含む私立幼稚園21園が市内に広く、全体に配置されております。資料5をご覧ください。私立幼稚園の定員の合計約5,500人に対して、現在の園児数は約3,800人で、充足率は約7割です。まだ1,500人以上の園児受入が可能な状況です。資料6をご覧ください。上尾市私立幼稚園認定こども園協会から提出された要望書です。私立幼稚園の園児獲得の厳しい状況、

公立、私立幼稚園に投入されている市費のバランス、私立幼稚園の幼児教育設備の状況、公立幼稚園の今後の利用方法についてなどご意見、ご要望がございました。資料7は、10月から予定されている幼児教育の無償化についての記事です。幼児教育の無償化実施により、公立幼稚園の大きな魅力の一つである費用面の差が小さくなり、平方幼稚園への入園希望者が更に減少する可能性があります。資料8をお願いします。平方幼稚園利用者から、平成30年12月市議会に提出された請願です。幼稚園給食、延長保育など新しいサービスの実施、園舎等平方幼稚園施設的环境整備、3歳児に特化した体験教室の実施や園児募集の方法についてなど、平方幼稚園のより良い環境整備を求める請願が提出されました。請願に対し、以下の理由から、平方幼稚園における事業の拡大や施設の改修は難しいと市から回答されております。平方幼稚園園児数の減少、第8次上尾市行政改革大綱・行政改革実施計画において、平方幼稚園の在り方については、民間幼稚園の就園状況に鑑み、抜本的な見直しを行い、検討するとしており、現在、市内民間幼稚園の園児の充足率は7割を下回っている。次に、資料9をお願いします。平成31年2月に教育委員会は「上尾市の幼児教育」について、幼児教育振興協議会に諮問しました。資料は、諮問に対する答申になります。市内の幼児教育施設の配置状況、園児の充足率について、市内には21の私立幼稚園が広く分布され、地域的な格差は無い。私立幼稚園全体の充足率は約7割であり、まだ1,500人以上の園児の受入が可能な状況である、としております。また、市内の私立幼稚園、認定こども園は、保護者の教育に対するニーズ、要望をとらえ、様々な園独自の特色を持ち、幼児教育の推進に努めており、全体として一定の幼児教育の水準を保っているとの答申をいただいております。平方幼稚園についての説明は、以上でございます。平方幼稚園の在り方につきまして、教育委員会の方針を確認させていただきたく、委員の皆様のご協議をお願いいたします。

(池野和己 教育長) ただ今、上尾市立平方幼稚園の在り方につきまして説明をいただきました。ここで、委員の皆様のご意見を伺いたいと存じます。

(内田みどり 委員) 母の立場として意見を申し上げたいと思います。私が子供の幼稚園を選ぶときにやはり選んだのは、小学校に入る前に、社会性ですとか協調性ですとか、多くの人数の子ども達の中で、集団生活ができるかというのを一番に心配しまして、そういったところで幼稚園を選びました。この平方の幼稚園ですが、人数を見ますとかなり減ってしまっていて、非常に少ない状態なのですが、私立の幼稚園と平方幼稚園の教育方針の違い、平方幼稚園の方が優れているものは何かあったのでしょうか。

(森泉洋二 教育総務課長) 平方幼稚園ですが、先生だけではなく、保護者の方が積極的に、幼児教育、子ども達の教育に参加をされています。そういった意味でも先生と、又、保護者の方と一緒に、子どもたちを育てたいという、そういった環境の中で幼児教育がなされています。

(内田みどり 委員) 他の幼稚園さんでも同じように保護者が参加しての活動というのはあるかと思えます。

(森泉洋二 教育総務課長) 平方幼稚園が長い歴史の中で、立地的に平方小学校の敷地内にあるという利点を活かしまして、かなり早い時期から幼小の連携ということで幼児教育に携わってきております。子どもたちが小学校に上がった時の心配だとか、そういった事の解消にもつながっております。また、そのことに関しましては、私立の幼稚園に関しましても、幼小連携の小学校との共同の事業等を行っ

ていると聞いております。

(内田みどり 委員) 近隣の小学校に入学するときに、近隣の幼稚園を選ぶというのはあると思いますが、この人数を拝見させていただくと、半数の方が近隣でないというのは、どういった理由なのでしょう。

(森泉洋二 教育総務課長) 平方幼稚園の特徴の一つでもあるのですが、私立の幼稚園では3年保育という3歳児、4歳児、5歳児の保育が主流になっておりますが、平方幼稚園は4歳児と5歳児の保育であり、また、給食がありませんので、お弁当を持参しています。通園バスがございませんので、幼稚園まで保護者の方がご自身で子どもを送ってきております。平方地区に幼稚園がなかったということで、出来たという歴史がございますけれども、平方幼稚園ではこういった教育をやっているよといった、親御さんがいろいろとお話しをされて、お知り合いの方に広まっていったと思われま。平方地区以外の方を見ても、近隣の大石、大谷が、次に人数が多くなっておりますので、比較的平方地区に近いところで、平方幼稚園の幼児教育の状況を理解した上で、選んできてくださっている。ただし、先ほど申し上げましたように、私立の幼稚園に比べて、サービスという部分では、難しいところがございますので、ご自身で幼稚園まで送ることができない方には、平方幼稚園を利用するのは難しい状況になっていると思われま。

(内田みどり 委員) 親ですからいろいろと欲をかってしまう。これがある、こんなサービスがある、英語教育が幼稚園の時から始まるですとか、スイミングスクールがあるですとか、いろんなことが競合してしまうというのは仕方がないことかなと思われま。やはり人数が少ないというのは、小学校に入った時にどうかなというのが親としては、一番のネックになるなというのがありました。教育的には運動会ですとか、参加させていただいて、それこそ親だけでなく、地域の方も参加されてというのがとても良かったんですが、ちょっと残念であるのが競争心ですとか、そういったところがないのが、やはり小学校に入った時にどうかな、とうのが疑問に思ったところ。ありがとうございました。

(森泉洋二 教育総務課長) 内田委員さんから集団教育の中での競争心ですとかお話をいただきましたので、資料1の2ページ目をご覧くださいと思います。こちら平成19年から31年までのクラス数、園児数等が書いてございますが、平成28年まではクラス数が3クラスございました。年長クラスが2クラスございましたが、平成29年度からは、年少、年長がそれぞれ1クラスずつとなっております。やはり集団教育というのはある程度的人数があってその中で競争が求められる部分があると思われま。平成29年からは、1つのクラス15人前後という人数になってしまいましたので、年長クラス、年少クラス合わせて、一緒に活動をするということをお話を伺っております。やはり幼児教育を進めていく中で、人数が少ない場合、集団教育が保たれるかということが課題、懸案事項となっております。ありがとうございました。

(小池智司 委員) 平方幼稚園の園舎の耐用年数というところで、今後、平方幼稚園をどのようにしていくのか、私立幼稚園認定こども園協会からの要望にもあったように一時預かり専門施設として利用していく場合として、耐用年数が、東棟については令和3年、講堂については令和4年で終わるといことで、耐用年数を60年と見ているのですが、ちょっと調べたところ、財務省令とかで建物の減価償却に対する、耐用年数の決め方というのは、鉄筋コンクリートだと47年、鉄骨だと35年、

これは建物がそれで終わるということではなく、減価償却を計算するうえでのものですので、実際の物理的耐用年数とうのはもっと長いと思います。例えばリノベーションとかすれば、ちょっと調べたところだと鉄筋コンクリートでも110年、120年持つという話も出ています。そういった中で60年で耐用年数が来るのでとしているのは、どこを基準で60年と定めたのでしょうか。

(森泉洋二 教育総務課長) 平方幼稚園園舎の耐用年数についてでございますが、今、平方幼稚園に限らず、市の建物と施設については、いつ頃どのような形で更新していくかという計画を立てて進めています。鉄筋コンクリートの60年をそれ以上の期間、実際には少し伸ばすことも可能かもしれませんが、安心して使える期間ということで、考えた場合に、減価償却の期間、また鉄筋コンクリートの期間、その他にも例えばコンクリートの中性化だとか、いろいろな具合を見て考えていく必要があるということをお聞きしております。こちらの幼稚園の施設に関しましては、この60年という期間以上ののぼすということを施設の担当課の方にも確認しましたが、それは考えていないということをお聞きしておりますので、60年の期間の中で平方幼稚園の状況について考えていく必要があると考えております。

(大塚崇行 委員) 利用者からの請願が出ています。これに対して市の方で回答がなされています。その後の声というのは何か出ていますか。

(森泉洋二 教育総務課長) 請願を出された保護者の方から、実際こういった請願が出てきて、この他に市の方に要望することはできないのかという声があるということをお聞きしております。請願としては施設の改修等、環境整備については難しいという回答が出ておりますが、出来れば、それでも市の方で考えていただけないかといったご要望も出ています。

(中野住衣 委員) 先程、内田委員さんからもお話がありました。平方幼稚園について、私が見聞きしている状況は、バスの送迎がなく、親子で登園、降園している。朝の光景を見ても、とても親子の時間を大切にしている、そこで、保護者同士も会話の機会が生まれ、まとまりもあるということもお聞きしています。それから、給食がないので、必ずお母さんがお弁当を作って持たせる。そういう中でも特色を出している。公立の幼稚園ですから、市教育委員会が教育内容について指導しており、研修にもこれまで継続して取り組み成果を上げ、そういう良さを市内外に発信されてきました。保護者の皆さんも積極的に幼稚園に関わり、とてもよい教育活動をしているという自負を持たれていると拝見してきました。参考になればと思いお話しさせていただきました。今後ですが、先程人数のことが出ましたが、園児の人数というのは、とても大事なことだと思います。教育を効果的に進めていくには、ふさわしい環境というのがあり、そのためには人数が確保されないといけないと考えます。教育の成果を上げるには支障があるのかなと考えます。耐用年数のこともありますので、その辺で考えなければならぬのかなと思っています。以上です。

(細野宏道教育長 職務代理者) 幼稚園というと保育園と違う。幼児教育を受けるということでやっているのですけれども、私立幼稚園に対して、上尾市教育委員会として、どのように幼児教育に対して、関わっているのでしょうか。

(森泉洋二 教育総務課長) 幼稚園の所管に関しましては埼玉県になりますので、直接私立幼稚園に関しまして、上尾市教育委員会の方から、指導はしていないというのが現状でございます。ただ、市内

にある幼稚園ということで、補助金等、市の子ども未来部の方から、出している関係もございます。そういったところで、私立幼稚園の方とも連絡を取っていることはございます。

**（細野宏道教育長 職務代理者）** 幼小連携というのがございますが、公立の唯一の平方幼稚園に対してと、私立の幼稚園に対する幼小連携というのは何か違いはありますか。

**（森泉洋二 教育総務課長）** 平方幼稚園の幼小連携に関しましては、立地的に小学校との結びつきが強いということで伺っております。私立の幼稚園と市内の公立の小学校２校、平方小学校含めてございますけれども、その小学校と近隣の幼稚園とつながりというのはやはり、現在幼小連携ということで、繋がりが出来ているという話を聞いております。その中身としましては、担当部局の方から、聞いていることによりますと、例えばですが、翌年小学校に上がる子ども達が、小学校に安心して上がれるように、子ども達の情報を小学校に伝えたり、小さな園児を小学校の子供が小学校を案内したり、小学校に入った時に、いろいろ心配が無いように、そういったこともやっているということ聞いております。

**（細野宏道教育長 職務代理者）** 公立の役割というのと私立の役割というのはそれぞれあると思います。昭和４０年に市内に公立の幼稚園ということで平方幼稚園は開園しました。私は昭和３２年に上尾幼稚園に入園しましたが、その頃上尾幼稚園はバスもなく、給食もありませんでしたが、今はほとんどの幼稚園であります。そのころから公立幼稚園があって、これだけ私立の幼稚園が増えて、社会情勢を見ると、今年度の無償化の流れとか、そして人口減少に伴う、平方の減少予想だとかを考えると、これまで上尾の幼児教育を支えてきた公立幼稚園である平方幼稚園の役割ということ考えた時に、私は、公立というのは、先程金額が提示されていましたが、金額の比較、すなわち平方幼稚園は、上尾市から１００いくらか出してますよ、それから私立はこうですよといった金額の対峙がありました。私は公立としては金額の比較はあまりするべきではないと考えています。金額がかかることをやらなければならないというのもひとつ公としては必要なことだと思います。一方で、公立幼稚園の役割ということ考えた時には、ここではもう既に終わったという言い方はおかしいかもしれませんが、私立の幼稚園に代わっても、公教育から私教育も含めた教育という大きな観点から見ると、一つの役割は終わったのではないかなというふうに思います。耐用年数というのもたまたま、こういうことを出してきたのだと思いますが、それは先ほど小池委員も言われたようにリノベーション等使えば、おそらく何とかかなるのかなというふうに思います。それからもう一方では、上尾市民体育館が、公から第三セクターというか、運営を他に任せたと、そういうことも考えられる。この資料には全く載っていないのですが、公立幼稚園として運営をどこかに任せるとか、そういうこともいろいろ考えられると思いますが、市内にこれだけ私立幼稚園が充足をしているという現状、それから繰り返しになりますが、今年１０月からの無償化、国として子ども達を私立、公立関係なく、育てていこうよという方針が示されたということ考えると、上尾市がこれまでやってきたことをリスペクトしながら、役割を終えるのかなと、そういうことが重要なかと、どこかで決断をしなければならないという協議の場としては、私はそういう意見を言わせていただければと思います。以上です。

**（中野住衣 委員）** 今後のことになるのですけれども、平方幼稚園の跡地利用について、現在のところ何か方向性が出ているのかそれだけお伺いしたい。

**（森泉洋二 教育総務課長）** 西棟に関しましては、耐用年数が令和２１年度までございます。平方幼稚

園の敷地に関しましては、遊具等も多くございまして、子どもたちの施設として利用が続けられれば良いと考えてはおりますが、今後の利用に関しましては、市の関係部局と協議をしながら進めていきたいと考えております。以上でございます。

(池野和己 教育長) それでは、本件につきましては、教育委員会といたしましては、平方幼稚園の園児数の推移、施設の耐用年数、民間幼稚園の就園状況等を考慮し、閉園することが妥当であるとするこことよろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) それでは、そのような方針で、今後、利用者の方や地域の方に丁寧に説明し、ご理解をいただくよう事務局をお願いいたします。

## **日程第8 閉会の宣告**

(池野和己 教育長) それでは以上で予定されておりました本日の日程はすべて終了いたしました。これもちまして、上尾市教育委員会6月定例会を閉会いたします。

令和1年7月18日 署名委員 中野 住衣